

人間発達学部

子ども発達学科准教授 安部 孝

1. 研究活動

| a 演奏会・展覧会・競技会等の名称・著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する） | b 発表または発行の年月日 | c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称 | d 発表・展示・作品等の内容等・論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入） |
|--|---------------|-------------------------------------|--|
| 【著書】 | | | |
| <p>「幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド」 ※執筆 ※当初、2011. 3に発行予定。都合、発行は2011. 5になった。</p> | 2011. 5 発行 | 株式会社 同文書院 | <p>「2 幼稚園・保育所実習」を執筆。保育者養成における学生が幼稚園や保育所、そして児童福祉施設で実習を行う際の、事前・事後指導をはじめ、実習の様々な場面においても学生が独習可能なテキストとして執筆・編集されている。</p> <p>特に安部は、幼稚園・保育所実習についての内容を担当する。実習課題や目的の立て方や考え方、指導案の書き方や幼児教育・保育における今日的課題でもある、特別支援、認定こども園についての理解すべきことや実習の取り組みの観点をも採り上げている。</p> <p>共著 編著 石橋裕子 分担執筆者／石橋、林、神戸、安部、石本、浅倉、梅澤、堀、森田</p> |
| 【論文】 | | | |
| <p>「保育士養成機関における『施設実習』の現状と課題（Ⅱ） －実習事後指導を通じた「自己評価」と「気づき」に関する分析から－」</p> | 2010. 6 | 「紀要 VISIO 第 40 号」九州ルーテル学院大学 | <p>本研究は「施設実習」に焦点を当てながら、その実践課題について検討を行っている。今回は、事前の取り組みと指導についての過程を分析した。今回はその継続研究として、事後指導における面接及び実習のまとめシートを総合的に分析し、学生の実習後の自己評価を媒介とした「気づき」に着目しながら、実習後の自己の高まりの様相について明らかにしていくことを目的とした。その結果、施設種別によって、実習生の「気づき」に相違が見られた。面接やシートで得られたデータの分析から、気づきの要因として、「とまどい」「憤り」「失敗不安」「エピソード」「気づき」「距離感」「信頼関係」「チームワーク」「やりがい」「理解の広がり」の10 カテゴリーが大きく影響していることが確認された。</p> <p>共著 共著者 石山貴章 (九州ルーテル学院大学 教授)</p> |

| | | | |
|--|--------------------------|---|--|
| <p>「保育実践力の育成に関する 考察 3 - 『実習指導室』の 『横断性』 -」</p> | <p>2011. 3 (印刷中)</p> | <p>「埼玉純真短期大学 研究論文集第 4 号」 埼玉純真短期大学</p> | <p>保育者養成において効果的な実習指導を講じる上で、学生が受けている指導・支援の内容やその意味をとらえ直すことが必要と考える。そこで本研究では、学生が日常的に活用する「実習指導室」に着目し、アンケートの回答に見られる学生の利用目的・理由と、「実習指導室」担当者の業務内容やそこでの対応事例との関係から、「実習指導室」の機能とそこで展開される人間的な働き（かかわり）としての機能や意味を明らかにした。また、複数領域の実習で活用される「実習指導室」の機能を、「横断性」という視点でとらえることで、実習指導・支援の在り方を総合的に構築する手掛かりについて考察した。</p> <p>共著 共著者 ・石山貴章 (九州ルーテル学院大学 教授) ・原田智鶴 (埼玉純真短期大学 助手)</p> |
| <p>「保育者養成における 『心の教育』の課題 1 ～展開の構想における 『困難性』～」</p> | <p>2011. 3 (印刷中)</p> | <p>「埼玉純真短期大学 研究論文集第 4 号」 埼玉純真短期大学</p> | <p>保育者の「心の教育」の実践力の養成は、保育者養成における重要な今日的教育課題である。保育者を目指す学生の「心の教育」に対する関心は高く、その多くは保育の手掛かりとしての子供理解に関するものであるが、「心を育てる保育の構想」の学習で学生たちは様々な疑問や新たな課題に気付いていく。そこで、本研究では、学生たちに起きている「心の教育」に関わる内面的な事実について目を向け、「心の教育」についての学生の学習の実態（総合演習）を基に、「心の教育」そのものが抱える課題について考察を行った。その結果、学生は「心の教育」の構想に当たっていくつかの困難性を認めたが、それらは同時に「心の教育」が含み持つ困難性であり実践に影響を与える潜在的な課題でもあると考えられた。また、学生は道徳的实践や行為の根拠（本来性）にも気付いており、その意味でも「心の教育」を、実践者の視点、また教育学や倫理的な側面からも考察する必要があると考えた。</p> |

| 【学会 研究発表 要旨】 | | | |
|--|---------|---|---|
| 「保育者養成における『心の教育』の課題2～展開の構想における困難性～」 | 2010. 6 | 日本道徳教育学会 第75回大会 「大会要項発表要旨集録」 (pp.66-67) (於:麗澤大学) ・自由研究発表 ・単独 ・口頭 | 保育者を目指す学生たちが「心の教育」を構想する上で経験する困難性の問題を、保育実習を通した振り返りや気付きを整理することで明らかにした。方法として、平成20年度の「総合演習－こころの教育を考える－」における学生の考察を手掛かりにして、「心の教育」や道徳教育が含み持つ困難性を提示した。学生は「思いやり」を育成する場面の前提に困難な状況があることを指摘し、さらに、教師の働き掛けによって子供は「思いやり」を知っていくが、本来それを知っているわけではなく、「本来持っているもの」によってそのような行為が現れると考えた。保育者養成においては、この「困難性」と「本来持っているもの」に関する考察や検討を学習に取り上げることが必要と考えた。 |
| 「保育者としての資質を培う実習指導の展開～『学び合い』を通して～」 | 2010. 9 | 全国保育士養成協議会 第49回研究大会 「第49回研究大会 研究発表論文集」 (pp.244-245) (於: 甲府富士屋ホテル) ・自由研究発表 ・単独 ・ポスター | 自身が担当する幼稚園教育実習の事前事後指導(実践研究幼稚園)における、学習の振り返りと学び合いを通して得られた成果と課題を、保育者の資質形成の手立てという視点から整理し、報告した。学生は仲間や後輩に実習で経験した「保育や保育者」について伝えることを通して、「理想の保育(者)像」を描きだし、具体的な身振りや手振り、語り口など身に付けていることに気付くことができた。これらから、教育実習と「学び合い」は、学生が自身の中に具体的な保育者としての資質を形成する機会であると考えた。 |
| 「保育実践につなぐ総合演習の展開(3)～教育実習を手掛かりとした『こころの教育』～」 | 2010. 9 | 日本教師教育学会 第20回研究大会 「第20回研究大会 発表要旨集録」 (pp.94-95) (於: 日本大学) ・自由研究発表 ・単独 ・口頭 | 「保育実践につなぐ総合演習の展開(1)」 「保育実践につなぐ総合演習の展開(2)」では、「こころの教育」の構想における「こころ」のとらえや、場面を理解する学生の立ち位置の問題を明らかにした。そこで「同(3)」では、学生の思考や構想、そして根拠となる経験を規定する教育実習が含み持つ課題を洗い出し、「こころの教育」の学習を通した保育実践力の効果的な育成という視点から、学生の考察の手掛かりとしての教育実習の在り方について考察を試みた。 |

| | | | |
|---|----------|--|--|
| 「保育者養成における課題 I ～場面指導に見られる 学生の実態～」 | 2010. 10 | 日本教育方法学会 第 46 回大会 「第 46 回大会発表要旨」 (於：国土館大学) ・自由研究発表 ・単独 ・口頭 | 保育者を目指す学生の、想定された場面指導に見られる対応や行動から、「保育者像」や専門家としての資質を高めるための学生の自己課題を形成するための指導の在り方を考察した。事例における対応で、学生の多くは「子供の目の高さで」と前置きし、初期の対応に受容や共感的態度が見られた。だが、それ以降は教師の論理を軸とした指導展開になるなど、学生の指導観を規定する学生の実態を考慮した指導構想が必要と考えた。 |
| 【社会活動等】 | | | |
| | 2010. 5 | 2010 年度 全日本私立幼稚園連合会 第 25 回東北地区私立幼 稚園教員研修大会 (宮城大会) 実施園 指導・助言 | 研究公開園・園内研修・保育参観指導助言 (保育の展開・研究のまとめ等) 於：公認 愛子幼稚園 (仙台市) |
| | 2010. 7 | 埼玉県行田市小中学校・ 校長会 研修会 | 講師 講義・テーマ：「配慮を要する子どもの とらえ方と支援」 於：埼玉純真短期大学 |
| | 2010. 7 | 2010 年度 全日本私立幼稚園連合会 第 25 回東北地区私立幼 稚園教員研修大会 (宮城大会) 実施園 指導・助言 | 研究公開園 事前指導・助言 (研究のまとめ等) 於：公認 愛子幼稚園 (仙台市) |
| | 2010. 7 | 埼玉県立熊谷商業高等学 校 教育・保育系進学希望者 対象 面接指導 | 講師 3 年生対象 面接指導 於：埼玉県立熊谷商業高等学校 |
| | 2010. 8 | 2010 年度 全日本私立幼稚園連合会 第 25 回東北地区私立幼 稚園教員研修大会 (宮城大会) 実施園 指導・助言 | 研究公開園 事前指導・助言 (研究内容及び大会要項等について) 於：公認 愛子幼稚園 (仙台市) |
| | 2010. 8 | 埼玉純真短期大学主催 夏期講座 (地域開放・一般) | 講師 講座担当 テーマ：「不登校への対応」 於：埼玉純真短期大学 ※羽生市「学びあい夢プロジェクト」との連携 |
| | 2010. 8 | 埼玉純真短期大学主催 夏期講座 (地域開放・一般) | 講師 講座担当 テーマ：「保幼小連携のススメ」 於：埼玉純真短期大学 ※羽生市「学びあい夢プロジェクト」との連携 |

| | | | |
|--|----------------------------|---|--|
| | 2010. 8 | 埼玉県行田市保幼小連絡協議会 教職研修会 | 講師 講演 題目：「保幼小連携への取り組み」 ～「スタートカリキュラム」・ 「アプローチカリキュラム」の 編成と実施に向けて～ 於：行田市グリーンアリーナ |
| | 2010. 9 (2010. 9. 3) | 2010年度 埼玉県私立短期大学協会 教職員研修会 | 第2分科会(1)(キャリア教育と進路支援) 座長 於：埼玉純真短期大学 |
| | 2010. 10～ | 2010年度 埼玉県特別支援教育巡回 支援員 | 埼玉県教育委員会より委嘱 |
| | 2010. 10 | 2010年度 埼玉県特別支援教育巡回 支援・巡回指導 | 特別支援教育巡回支援(巡回指導) 於：埼玉県立羽生高等学校 内容：協議等 「羽生高校の様子と今後の巡回支援の方向性 について」 |
| | 2010. 10 (2010. 10. 22) | 2010年度 全日本私立幼稚園連合会 第25回東北地区私立幼 稚園教員研修大会(宮城 大会)指導・助言 | 公開研究保育(及び研究発表)指導・助言 於：公認 愛子幼稚園(仙台市) |
| | 2010. 4～ | 羽生市 「学びあい夢プロジェク ト協議会」委員 | 羽生市「学びあい夢プロジェクト協議会」委 嘱 ※幼児教育、学校教育領域に関する講座、相談、 共同研究などを担当 |

2. 教育活動(教育実践上の主な業績)

大学院授業担当 有 無

| | | |
|---|-----------------------------|--|
| f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等 | | g その他教育活動上特筆すべき事項 |
| 授業科目 保育者論 | | 全国保育士養成協議会関東ブロック 学生研究発表会における、ゼミ生の 発表の指導等。 (第24回学生研究発表会、H23.2.18. 『心の教育』を考える-『優しさ』を 育むことについて-) |
| ◆前期 <input type="checkbox"/> 後期 | | |
| 工夫の概要 | 教材・資料等の概要 | 就職委員長(学生部長)としての就職・ 進路支援(日常的指導、「就職ガイダ ンス(キャリアガイダンス)」等の開 催など)。 |
| 専門職としての現職能力の基本的資質 を養うために、保育、保育現場に関わる 概念、用語などの知識についての確認の 小試験を実施。 複数の教員で実施。教職論、保育実践と の内容に分けて行った。 | テキストのほかに独自にワークシート を準備した。 | |

| | | |
|---|---|--|
| 授業科目 総合演習Ⅱ・教職実践演習 | | |
| ◆前期 ◆後期 | | |
| 工夫の概要 | 教材・資料等の概要 | |
| 2年生対象。ゼミとして通年で担当。「心の教育」をテーマに共同研究を行った。考察の素材・手掛かりとして「保育・教育」実習における経験を検討事例として活用させた。全国保育士養成協議会関東ブロック学生研究発表会への参加を見通した取り組みを行った。 | 特に、前年度までの全国保育士養成協議会関東ブロック学生研究発表会における、卒業生の研究成果を活かした研究を行った。 | |
| 授業科目 総合演習Ⅰ | | |
| □前期 ◆後期 | | |
| 工夫の概要 | 教材・資料等の概要 | |
| 発展的に学外での授業・学習への展開を図った。(「心の教育」に関連) 興味・関心に応じて、研究を一層深める目的で、課外ゼミを行った。(思想・宗教) | 学外での授業の学習対象 ・秩父・金昌寺の慈母観音 ・「思いやり」と仏教における慈悲についての考察の手掛かりとして | |
| 授業科目 幼稚園教育課程論 | | |
| □前期 ◆後期 | | |
| 工夫の概要 | 教材・資料等の概要 | |
| 特に保育・現場における事例を取り入れた授業の展開。 …保育場面対応についての考察など 指導計画、指導案の作成指導 | テキスト以外に独自のワークシートを作成し使用した。 「教育課程」に示された意図や援助・環境構成を考察させる課題の提示など | |
| 授業科目 実践研究Ⅰ・Ⅱ(幼稚園) | | |
| ◆前期 ◆後期 | | |
| 工夫の概要 | 教材・資料等の概要 | |
| 実習の事前準備の中で、特に保育・教育現場の事例を提示したり、模擬保育を取り入れたりして具体的な理解を図った。保育者の資質を養うために「専門家」「生活者」としての成長のための自己課題の設定と解決に取り組ませた。※1 実習経験を基に「学び合い・伝え合い」の活動で、模擬保育などを取り入れた報告・伝達会を行った。それには1年生を加え事前学習として活かした。 ※1における取り組みの成果物を、学内行事で展示し紹介した。 | テキスト以外に独自のワークシートを作成し使用した。 ※1の取り組みの手掛かりとして、「マスターペーパー」を作成し用いた。 | |

3. 学会等および社会における主な活動

| h 学会等の名称 | i 活動期間 | j 活動概要その他 |
|----------|--------|-----------|
| 【所属学会】 | | |

| | | | |
|-----------|------|---------------|--|
| 日本保育学会 | (会員) | 2006年～(現在に至る) | |
| 日本教育方法学会 | (会員) | 2006年～(現在に至る) | |
| 日本教育学会 | (会員) | 2006年～(現在に至る) | |
| 日本教師教育学会 | (会員) | 2007年～(現在に至る) | |
| 日本道德教育学会 | (会員) | 2008年～(現在に至る) | |
| 身延山大学仏教学会 | (会員) | 2007年～(現在に至る) | |
| 日本仏教教育学会 | (会員) | 2010年～(現在に至る) | |
| 教育哲学会 | (会員) | 2010年～(現在に至る) | |